

事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 高知県立療育福祉センター 通園事業部

公表：令和6年3月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	1	
	2 職員の配置数は適切であるか	14	0	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	・子どもに応じた環境設定をしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	・その日に参加する児にあわせた環境作りをしている。 ・療育後、毎回消毒を行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	0	・療育前の打合せ、療育後の反省会等、日々の療育においてPDCAを意識した支援ができています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	・保護者の意向を職員間で共有し、検討するようにしている。 ・希望調査や行事後のアンケートなどでご意見を確認し、業務改善につなげている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	0	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14	0	・研修（web含む）に参加し、専門知識や技術向上に努めている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	・定期的に職員間で学習の時間を設けて、知識の向上に努めている。 ・職員同士で勉強会や施設見学などを実施し、職員の資質向上に努めている。
適切	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・個別支援計画作成前には、保護者に子どもの様子やニーズを記入してもらっている。 ・日々の療育の中でも保護者との対話を通してニーズや課題を確認するよう意識している。 ・ケース検討会では、メインシートを基にチームで課題や支援内容を協議している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	0	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	・個別支援計画を基に療育支援を行っている。

な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	・スタッフ会で検討している。 ・契約児全員のケース会を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14	0	・その年の子どもにあわせた活動プログラムを立てるようにしている。 ・ケース会、チーム会で検討している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	0	・子どもの状況に応じた活動内容を検討し、計画に盛り込んでいる。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	0	・支援内容、役割分担を確認するとともに、前回の反省点を職員間で共有し、質の向上を図っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	14	0	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	14	0	・チーフまたは担当が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	14	0	・地域の保健師が関わっているケースで、気になるケースにおいて連携を取り合いながら療育を進めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	0	・できる限り関係機関との連携は行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	0	・緊急な対応が必要なケースについては、近くの医療機関にも受診をお願いし、通園時に体調不良があった時には、すぐ連絡を取れる体制を整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	0	・園への訪問、園からの見学を受け、情報共有を図っている。 ・適宜、園訪問や支援会を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	0	・引き継ぎの支援会、情報提供書の作成。 ・就学時に支援会を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	1	・他の事業所へ見学に行ったり、事業所主催の研修を受け、専門知識や技術向上に努めている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	5	・利用児の兄弟児を招く機会を作っている。 ・並行通園の児が多いので交流できている。 ・契約児は就園している児が多いため、特別な機会は設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	10	以前は県主催の自立支援協議会の委員になっており、任期中は参加していた。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	・子どもの発達に合わせた課題を設定し、取り組みたくなるような工夫や、なぜこの課題をしているのかなどを伝えている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレント・トレーニングの観点での支援をしている。</li> <li>・声かけのタイミングや褒め方などを個別に伝えている。</li> </ul>
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の集まりを開催したり、保護者同士でお茶会をする時間を作った。</li> <li>・Q&amp;A（掲示板）などを作成し、意見交換ができる場を設けている。</li> <li>・保護者の集いを行っている。</li> </ul>
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	14	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	7 不明 <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学や研修、地域に出向いての研修を行うなど、地域に開かれた事業を行っている。</li> </ul>
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	14	0	